

## 猛毒きのこ「カエンタケ」に注意!

奈良県北部・中部・東部地域の森林内において、猛毒きのこ「カエンタケ」の発生が確認されています。

見かけた場合は、次のことに注意してください。

- ① 絶対に触れないでください（触るだけで皮膚がただれる場合があります）
- ② 絶対に食べないでください（毒性は強く、死亡した例があります）



（クヌギの根元から発生したカエンタケ 2016年7月27日撮影）

「毒キノコによる食中毒に注意しましょう」(厚生労働省ホームページより)

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/kinoko/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/kinoko/index.html)

特徴	形と色	表面はオレンジ色から赤色、細長い円柱状または棒状で、土から手の指が出ているように群生または単生する。中は白く、硬い。
発生時期	夏から秋	
発生場所	ブナ、コナラなどナラ類などの広葉樹林の地上に群生して発生する。	
間違えやすい食用きのこ	ベニナギナタタケ(シロソウメンタケ科ナギナタタケ属)	
症状	食後30分から、発熱、悪寒、嘔吐、下痢、腹痛、手足のしびれなどの症状を起こす。2日後に、消化器不全、小脳萎縮による運動障害など脳神経障害により死に至ることもある。	
毒成分	トリコテセン類: 毒性は強く、食べても、触っても毒である。死亡例あり。 (注意)見た目は気味が悪く、食用に見えないが、薬用と勘違いして酒に浸して飲んで中毒が起き、死亡した例がある。	